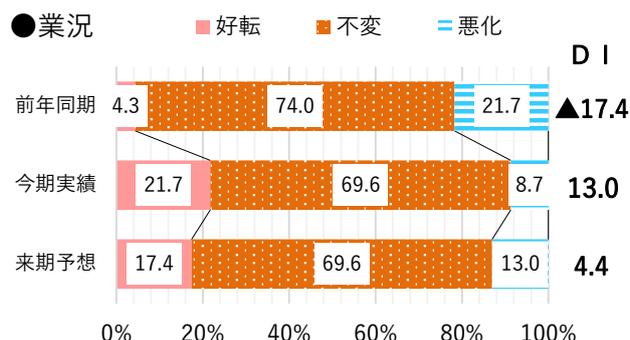


# 建設業

## 業況、売上、採算

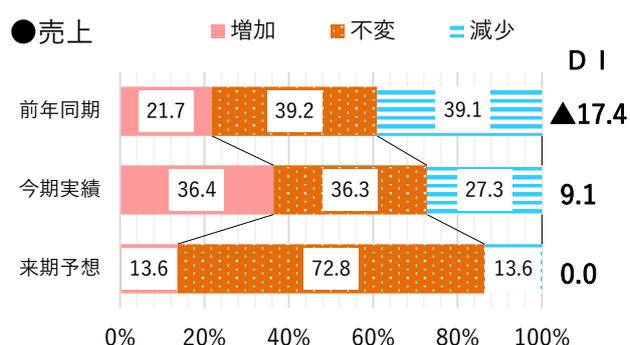
今期（2022.10～12）の業況判断DIは13.0で、前年同期(2021.10～12)と比べ30.4ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期（2023.1～3）は、業況の好転傾向が弱まると予想しています。



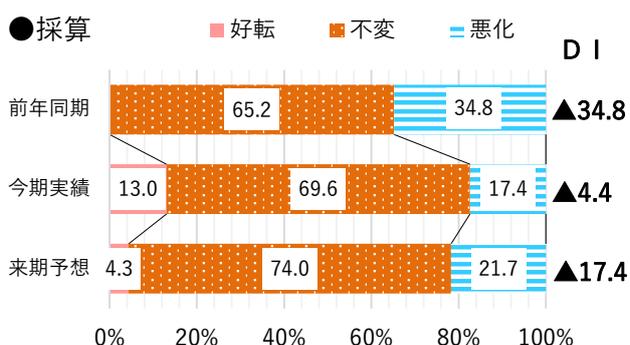
今期の売上高DIは9.1で、前年同期と比べ26.5ポイント上昇しました。

来期は、売上の増加傾向が弱まると予想しています。

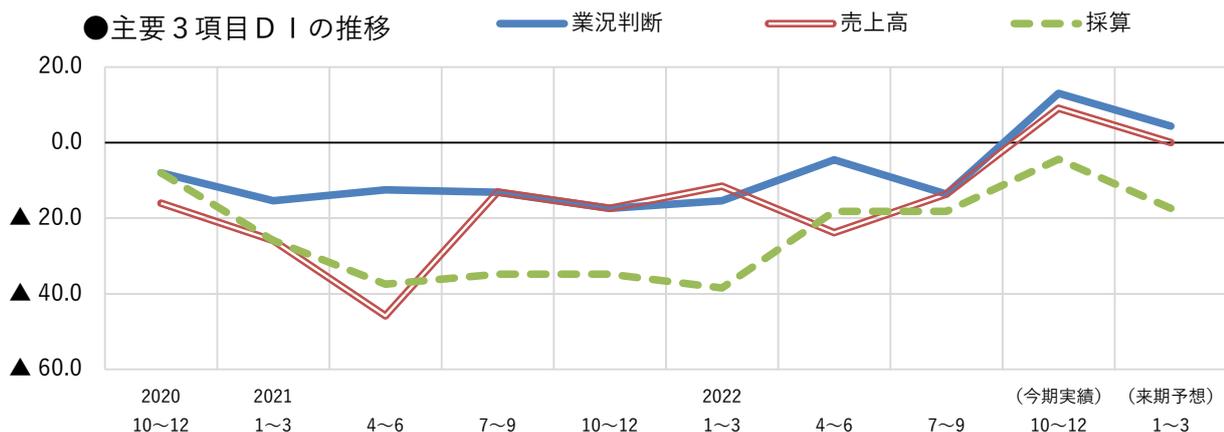


今期の採算DIは▲4.4で、前年同期と比べ30.4ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、採算の悪化傾向が強まると予想しています。



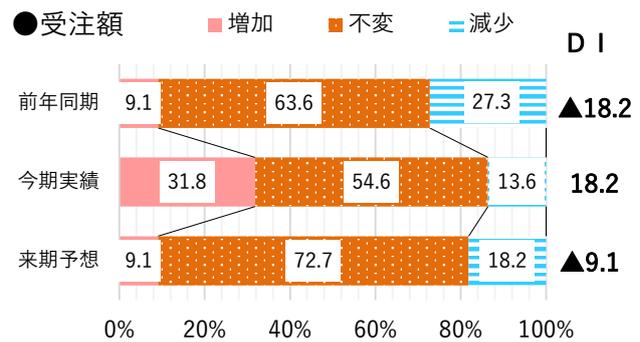
### ●主要3項目DIの推移



受注（新規契約工事）額、契約残（未消化工事高）、材料仕入単価

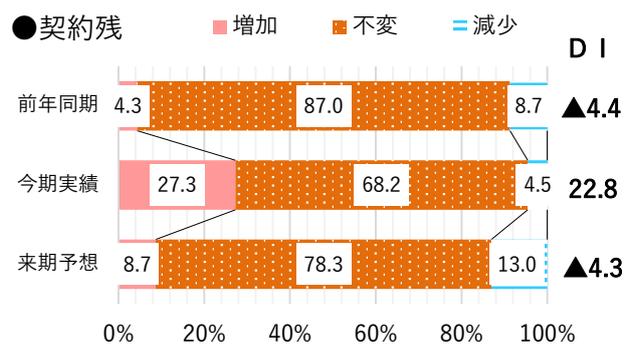
今期の受注額DIは18.2で、前年同期と比べ36.4ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、受注額がマイナスに転じると予想しています。



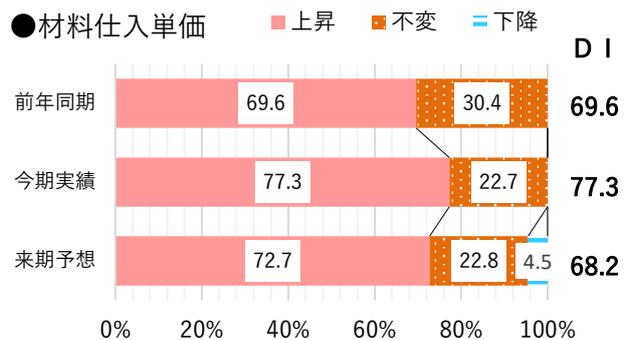
今期の契約残DIは22.8で、前年同期と比べ27.2ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、契約残がマイナスに転じると予想しています。



今期の材料仕入単価DIは77.3で、前年同期と比べ7.7ポイント上昇しました。

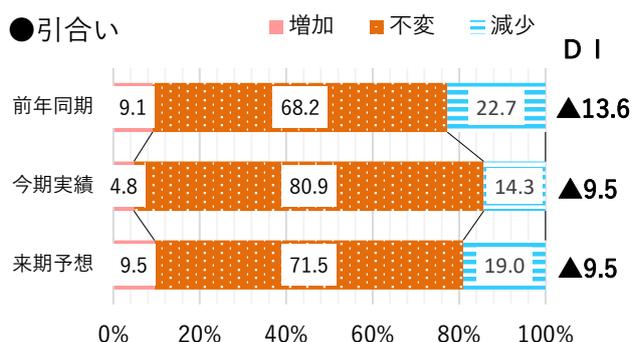
来期は、材料仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



引合い

今期の引合いDIは▲9.5で、前年同期と比べ4.1ポイント上昇しました。

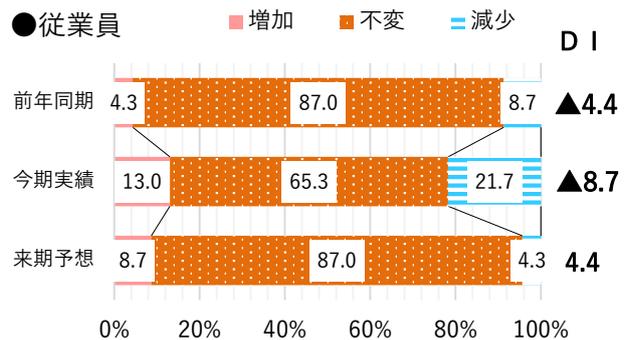
来期は、引合いの横ばいを予想しています。



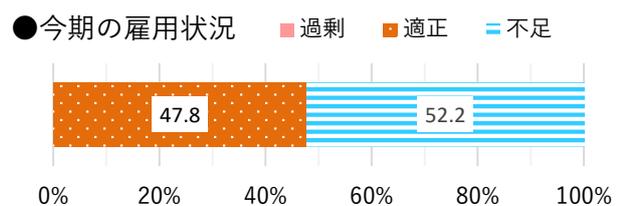
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲8.7で、前年同期と比べ4.3ポイント低下しました。

来期は、従業員数がプラスに転じると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は47.8%、不足していると回答した企業の割合は52.2%でした。



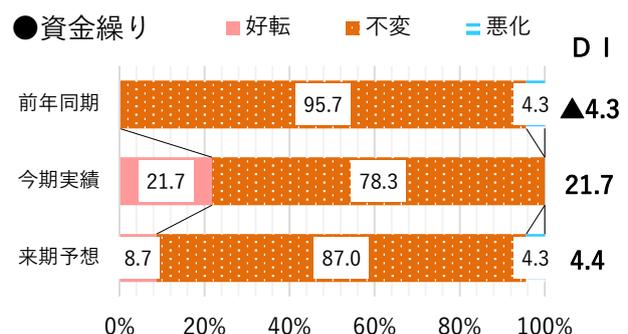
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、43.4%を占めました。回答全体でみると半数以上の52.2%が従業員不足と回答しています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	3
不変だった	過剰	0
	適正	10
	不足	5
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	4

資金繰り、設備投資

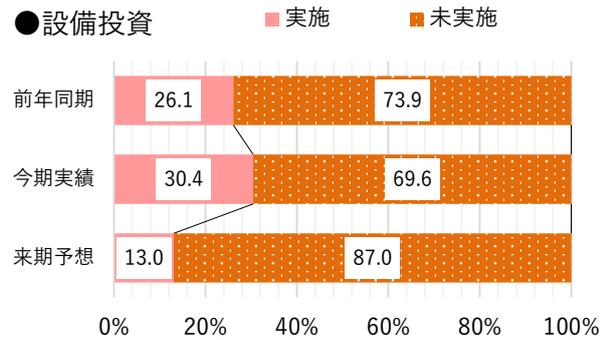
今期の資金繰りDIは21.7で、前年同期と比べ26.0ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、資金繰りの好転傾向が弱まると予想しています。



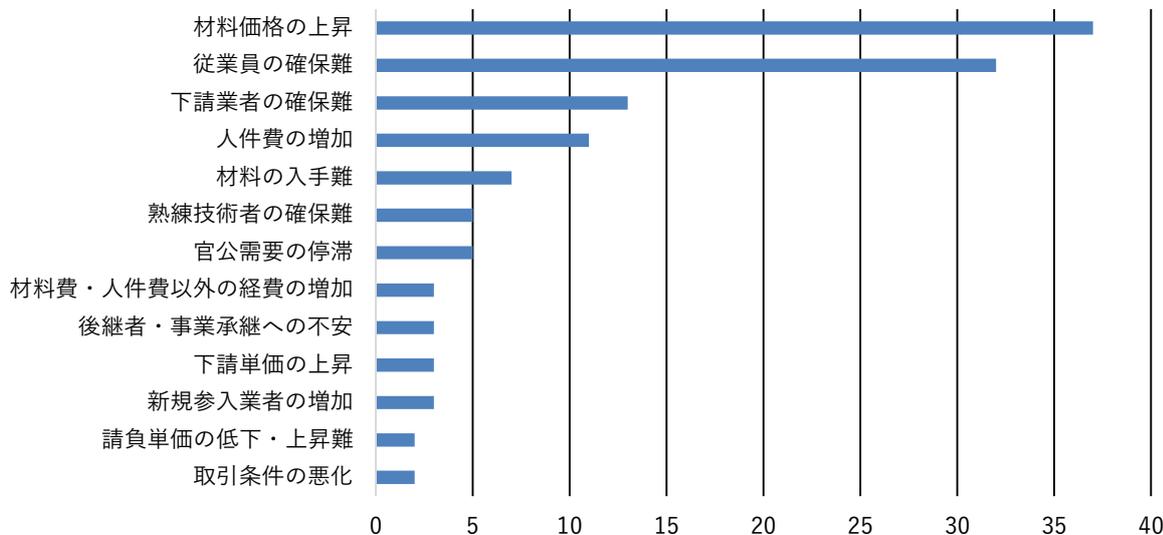
設備投資を実施した企業の割合は30.4%で、前年同期と比べ4.3%上昇しました。投資内容は、1位が「OA機器」、2位が「車両運搬具」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は13.0%で、減少を予想しています。



## 経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「材料価格の上昇」、2位が「従業員の確保難」、3位が「下請業者の確保難」の順です。



## 企業の声

[今期の業況について]

- 円安の影響が読みにくい。高騰する原材料価格と市場が求める販売価格のバランスを考えながら、仕入量を決定するのが難しい。(一般土木工事業)
- 売上は増加したが、仕入単価等の上昇により採算が悪化した。引き続き人材確保に力を入れたい。(一般土木工事業)
- 昨年同期の受注量は目標を下回ったが、今期は順調に目標分を確保できた。仕入の値上がり分も転嫁できている。(一般管工事業)
- 人材を確保できず、思うように仕事を受けられなかった。(職別工事業)
- 業況は悪化した。人材不足が課題だ。(職別工事業)
- 新規工事が2件あり、好調だった。従業員の高齢化が進み、若い人材を確保できていない。(造園業)
- 材料仕入単価の上昇により利益が減少しているが、社員の技術が向上しており、業況は良い方向に向かっている。(電気工事業)

[来期の業況について]

- 従業員を確保したい。(一般土木工事業)
- 受注済工事の施工が主となっており、安定した利益を確保できる見込みだ。(一般管工事業)

- 人材不足が続くと思われるので、インドネシア人を3名雇用し、現在雇用中のベトナム人2名とともに働いてもらう予定だ。（職別工事業）
- 業況の悪化と人材不足が続く。（職別工事業）
- 今期のような新規工事の受注を見込めないため、売上は減少すると思われる。（造園業）
- 設備投資を計画していたが、材料費、燃料費の上昇により見合わせている。（電気工事業）